資料④

No.	意見者（委員）	該当ページ	当該箇所	ご意見等	ご意見の要旨	市の考え方	修正の有無	第12次流山市交通安全計画（案） 修正後
1	福山委員	P7	図8（自転車の交通人身事故　年齢層別・原因別）	グラフの「小学生」と「高齢者」の柄（模様）が類似しており、見分けづらい。	グラフの「小学生」と「高齢者」の柄が見分けづらいため、判別しやすくしてはどうか。	御意見のとおり、判別しやすい配色・模様に変更いたします。	有	グラフの柄を、判別しやすい配色・模様に変更（図の修正のみ。本文の変更なし）。
2	福山委員	P8	図9（事故類型別）の円グラフ	円グラフの説明の引き出し線（棒）が太く、目立つ。	円グラフの引き出し線が太く目立つため、細くしてはどうか。	御意見のとおり、引き出し線を細い線に変更いたします。	有	引き出し線を細い線に変更（図の修正のみ。本文の変更なし）。
3	新谷委員	P16	第1の柱（1）ウ　交通安全団体への支援　①	団体名の表記について、「流山市交通安全協会」のみ「流山市」が付いており、他の団体の表記（「流山」を付けない形）と揃っていない。「流山市」を外して表記を統一してはどうか。（修正前：「①流山市交通安全協会」）	団体名の表記を統一するため、「流山市交通安全協会」の「流山市」を外してはどうか。	御意見のとおり、団体名の表記を統一し、「交通安全協会」と修正いたします。	有	①交通安全協会
4	新谷委員 山川委員	P17～18	第1の柱（2）地域でつくる高齢者交通安全対策の推進 ア・イ	ア（高齢運転者の運転対策の充実）の最後の2行と、イ（高齢運転者の免許自主返納）の記載が、全く同じ文言で重複している。どちらにも生かすのであれば、アの2行はなくてもよいのではないか。	「ア」と「イ」で、免許自主返納に関する記載が重複しているため、整理してはどうか。	御意見のとおり、重複した記載でしたので、アの自主返納に関する記述を削除し、イに集約いたします。	有	ア　高齢運転者の運転対策の充実（自主返納に関する記述を削除） イ　高齢運転者の免許自主返納（記載を集約）
5	新谷委員	P18	第1の柱（2）ウ　高齢者の自主的な交通安全活動の促進	「交通安全教育の循環や自律的な交通安全教育サイクルの構築を推進」では、具体的に何をするのかが不明瞭である。	具体的に何をするのか分かるよう、記載を具体化してはどうか。	御意見を踏まえ、シルバーリーダー研修受講者への支援等、具体的な内容に修正いたします。	有	高齢者が安全かつ安心して生活できる交通社会を形成するため、千葉県や警察が実施するシルバーリーダー研修等の受講者が、地域において交通安全教育や啓発活動を行えるよう支援するとともに、地域における交通安全教育の担い手の育成・活動促進を図ります。
6	新谷委員 山川委員	P18～20	第1の柱（3）飲酒運転の根絶	18ページ冒頭の記載（「飲酒運転の根絶においては…実現を目指します」）が、19ページのイの記載と同じ内容で重複している。また、飲酒運転対策は、飲酒運転根絶の重点施策として、さらに強調して記載してはどうか。	記載の重複を解消するとともに、飲酒運転の根絶に関する記載を具体化し、強調してはどうか。	御意見を踏まえ、重複記載の解消、抽象的表現の具体化を行うとともに、関連項目（飲酒運転等に対する取締り）を本項目に統合いたします。	有	ア 「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」環境づくり（旧イを繰上げ） イ　職場・家庭等における飲酒運転根絶運動の展開（飲酒運転根絶協議会等を通じた活動、広報啓発の継続実施） ウ　飲酒運転等に対する交通指導取締りの強化（P28の記載を統合） エ　職域における運転前飲酒検査等の推進（各事業所への支援、市職員への周知・啓発を明記）
7	新谷委員 山川委員	P22	第1の柱（5）外国人に対する交通安全教育の推進	運転免許証の更新時の待ち時間等を活用した啓発は、実態と合わない。（外国人の免許手続は運転免許センターで行われることが多く、流山警察署で対応する機会は少ない。）	免許更新時の啓発を想定した記載は、実態と合わないため、見直してはどうか。	御意見を踏まえ、国際交流協会等と連携した地域における教育の推進という、実態に即した内容に修正いたします。	有	外国人に対する交通安全教育については、外国人居住者及び在勤者の増加を踏まえ、関係機関と連携し、地域における交通安全教育の推進を図ります。具体的には、国際交流協会、教育機関、事業所等と連携し、多様な機会を通じた交通ルールの周知・啓発を行います。

資料④

No.	意見者（委員）	該当ページ	当該箇所	ご意見等	ご意見の要旨	市の考え方	修正の有無	第12次流山市交通安全計画（案） 修正後
8	新谷委員 山川委員	P22～23	第1の柱（6）（7）（新設）	第11次計画にあった同種の項目が第12次計画（案）になく、こどもの安全施策が手薄な印象を与える。	第11次計画にあった「普及啓発活動」「交通安全教育」に関する項目を復活させてはどうか。	御意見を踏まえ、2項目を新設いたします。	有	（6）交通安全に関する普及啓発活動の推進 交通安全意識の向上を図るため、四季の交通安全運動等の機会を活用し、交通ルールの遵守及び交通安全思想の普及啓発を推進します。特に、チャイルドシート使用、シートベルト着用等について重点的に啓発を行います。 （7）段階的かつ体系的な交通安全教育の推進 こどもの交通安全対策として、幼児から中高生までの発達段階に応じた体系的な交通安全教育を推進します。具体的には、保育園・幼稚園における交通安全指導、小中学校における自転車安全教育、家庭・地域と連携した交通安全啓発、チャイルドシートの適正使用の普及啓発を総合的に推進します。
9	新谷委員	P24～25	第2の柱（1）人優先の安全・安心な歩行空間の整備　信号機に関する記載	信号機に関する記載が、市の役割の整理（対策立案・実施支援）にとどまっている。地域課題を踏まえ、必要に応じて高機能な信号機も視野に入れ、警察に要望する旨を記載してはどうか。	信号機について、地域課題を踏まえ、高機能な信号機も視野に入れて警察に要望する旨を記載してはどうか。	御意見を踏まえ、地域課題を踏まえた警察への要望という表現に修正いたします。	有	信号機については、地域課題も踏まえつつ、必要であれば右折信号や経過時間表示付き歩行者用交通信号灯器等の高機能な信号機も視野に入れながら、警察に要望していきます。
10	福山委員	P29	第2の柱（7）道路交通秩序の維持　ア　交通指導取締りの強化等	「シートベルト未着用」の表現について、千葉県の交通安全計画等では「非着用」が用いられている。（JAF・警視庁も「非着用」を使用）	「シートベルト未着用」を、県の計画等の用例に合わせ、「シートベルト非着用」としてはどうか。	県の交通安全計画等の用例に合わせ、「非着用」に統一いたします。	有	シートベルト非着用
11	西澤委員	P30	第3の柱（1）救助・救急体制の整備　エ　救急救命士の養成・配置等の促進	「高度救急医療に対応できるよう」という専門的な表現は、趣旨が伝わりにくい。	「高度救急医療」という表現を、趣旨が伝わる表現に改めてはどうか。	御意見を踏まえ、「生命の危機的状況」に修正いたします。	有	生命の危機的状況に即座に対応できるよう病院実習及び各研修等への派遣に努めます。
12	西澤委員	用語集	ICLS	ICLSの説明の「蘇生トレーニングの講習会」は、正確な表現ではない。	「蘇生トレーニング」を、より正確な表現に改めてはどうか。	御意見を踏まえ、「チーム蘇生」に修正いたします。	有	日本救急医学会認定のチーム蘇生の講習会。